



湘南鎌倉総合病院広報誌 Vol.154
2020.1



しょうなんメール

謹賀新年

題 字：医事課 柴本 圭菜実
撮影者：施設管理 前島 崇忠
鶴岡八幡宮にて

▶ 特集 ◀ 新年のご挨拶 湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

院長代行 小林 修三 看護部長 八木沼 正子 事務局長 前川 俊輔 事務長 芦原 教之

- ・ 総合診療科「第1回鎌倉医療カレッジを開催」
- ・ お知らせ がんサロン・フットケアイベント・院内コンサート
地下駐車場出入口の変更

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。
今年は、当院が鎌倉に開院して32年目を迎えます。
4月には「湘南鎌倉医療大学」看護学部1期生
100名の入学式を迎えます。
将来は大学院で修士課程や博士課程を履修できるように
するとともに、他の学部も開設を予定していきます。
また、年末には先端医療センターの竣工式を予定しており、
「先端医療センター」には県下で初めての
陽子線治療設備が配置されます。

「湘南鎌倉医療大学開学」 「先端医療センター竣工」

巻頭インタビュー

地域医療での病・病連携、 病・診連携が活性化。

今後ますます、地域の患者さんが安心して医療・療養を受けられる
地域社会の実現に向けて力になっていきたいと思えます。

救急を断らない方針は今後も変わることはありません。さらに今年は、
国のがん拠点病院取得、地域医療支援病院としての基盤整備に力をいれていきます。





湘南鎌倉総合病院 [院長]

篠崎 伸明

interview with NOBUAKI SHINOZAKI

先端医療センター・救命救急センター・外傷センターの工事現場にて

昨年5月から始まっている先端医療センターの工事
も順調に進んでおりますが、工事のため駐車場が一時的
に狭くなり、患者さんには大変ご迷惑をおかけして
います。申し訳ございません。今年からは外傷・救命
救急センターの増築も始まります。当院は、がん治療
にも力を入れており、新規がん登録数は年間2,200件
を超えるようになりました。手術治療、化学療法、放
射線治療などはすでに行われていますが、今後、温熱
療法、高気圧酸素療法など、患者さん目線で求められ
る治療が提供できるように体制を整えていきます。

湘南ヘルスイノベーションパークにおいては複数の
企業との放射線読影のAI共同開発、再生医療などの共

同研究も始まっており、今後いくつかのプロジェクト
が進む予定です。すべての挑戦は患者さんのためにな
るかどうかという基準で決められます。これからも湘
南鎌倉総合病院は、常に新たなことへ挑戦し続ける病
院でありたいと思っております。

当院で優れた人材が育ち、多くの物事を発信できる
ような病院になるための大切な1年と位置付けていま
す。本年もよろしくお願い申し上げます。

令和2年1月元旦
湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

わたくしども職員を代表しまして令和2年の幕開けのご挨拶をさせていただきます。年が変わっても「生命だけは平等だ」の価値は全世界に通じます。職員一同、いつでも・どこでも・誰もが自由に医療を受ける権利を尊重し職員全員日々精進しています。この瞬間にも新たな命が誕生し、また残念ながら天に召された方、あるいは大変な治療と懸命に戦っておられる方など、許可病床 658 を持つここ湘南鎌倉総合病院という大きな舞台上、わたくしども約 1,500 名の職員全員が尊厳あるお一人お一人の命をしっかりとお預かりしています。

同時にこの瞬間、救命救急センターには救急車が来院しています。現在その数一日およそ 40 台、日本一の規模で救急を断らない医療を実践しています。加えて当院では 10 年以上前から国際貢献も行ってきました。このお正月をアフリカ医療支援のため遠く離れたタンザニアの奥地で過ごすスタッフもおります。当院創立から 32 年目に入っても我々の理念は変わりません。

日々、職員に伝えていることは

「For the patient」

という合言葉です。どんな困難な場合でもこの合言葉で解決します。「この病院に来てよかった。このスタッフに会えてよかったね」そう言われる優しい病院作りを目指しています。「弱者を置き去りにせず、安全第一に質を向上し先進医療を目指す」という、わたくしどもの理念は「病院は地域の生活と文化の中心」の合言葉とともに病院経営に生かされています。

2018 年 7 月には鎌倉市医師会にも加盟し、医師会長並びに市長から市の基幹病院としての位置付けのお言葉も頂きました。責任ある地域医療を医師会の先生方とともに守って参ります。



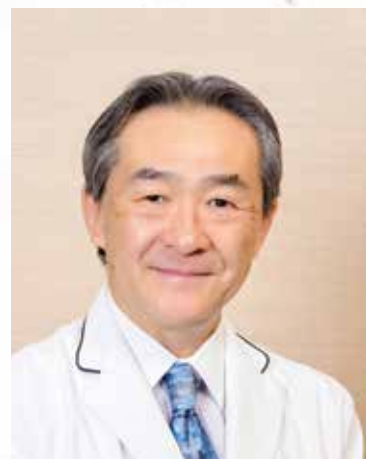
第 2 回病院祭での
松尾崇鎌倉市長との特別対談

本年 10 月には先端医療センター棟が完成し、翌年には外傷センター棟も完成します。先端医療センター棟では死因の第一位を占める悪性腫瘍に対してがん相談支援センターなど緩和ケアの充実とともに先進医療である陽子線や BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）、あるいは我が国を代表するような再生医療の実践推進を

新年



あけまして
おめでとございます



湘南鎌倉総合病院 [院長代行]

小林修三

SHUZO KOBAYASHI

その基礎的研究とともに目指します。また、神奈川県が進める未病対策を含めた人間ドックセンターも新設され、受診される皆様のアメニティーも充実させるなど、プレジジョンメディスンを行う高度急性期総合病院となります。

病院に来られる方々は不安でいっぱいです。常に皆様の視線で病院運営を行います。またその方々を診る職員も緊張と集中の連続です。こうしたことを含め、それぞれのレストランを大きく明るいスペースで準備しています。全職員の物心両面の幸せは患者さんを幸せにします。いつも笑顔で迎えることができるよう医師およそ 220 名を含む全職種が一体となって多職種で医療を行い、一人一人が日毎に皆様への貢献を自覚し、確実に命をバトンタッチするプロ集団の医療経営を目指していきます。徳洲会理事長の目指す、やがてレジェンダリーホスピタル（伝説の病院）と言われるそんな病院の新たな年の幕開けです。

最後に皆様のご多幸お祈りして新年の挨拶の締めくくりとさせていただきます。



タンザニアでの初の腎移植成功の瞬間

一番適切な医療 看護は

何なのかを問い続ける。

新年あけましておめでとうございます。2019年は年号が令和に改まり時代の変遷を感じるとともに、2020年は何かが変わっていくワクワク感のようなものを感じます。

昨年を振り返れば、相次ぐ台風・大雨の被害を受け、未だ不便な生活を余儀なくされている方々がいらっしやいます。そんな中、ラグビー・ワールドカップ2019では初の8強入り、挑戦・感動・勇気を頂きました。「ONE TEAM」というすてきな言葉も残してくださいました。師走にはノーベル化学賞を受賞された吉野彰さんの爽やかな笑顔、凄いなあ、と感心させられるばかりです。世の中に何が一番大切なのか：考え続けることで発想が湧いてくると言っておられます。

私たち医療従事者は、この方に一番適切な医療（看護）は何なのか、この地域における医療はどうあるべきなのか、この少子超高齢時代をどうすべきなのかを、いつも考えさせられます。私たちにできること……。どうぞ地域の皆さんから声を出して頂けると嬉しいです。こんなことに困っている、こういうことをしてもらったら嬉しいなあ、などなど。新年度には先端医療センター棟の完成、次年度には外傷・救命救急センターの完成と様変わりしていくこととなります。地域の皆さんと共にこの病院を発展させることができれば嬉しき限りです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

湘南鎌倉総合病院 [看護部長]

八木沼正子

MASAKO YAGINUMA



医療は最終的に「人」

人間味あふれる医療従事者の継続的教育を



湘南鎌倉総合病院 [事務局長]

前川俊輔

SHUNSUKE MAEKAWA



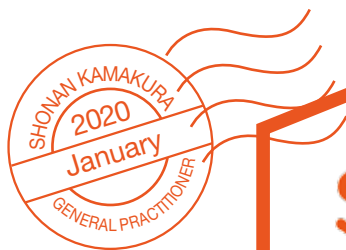
湘南鎌倉総合病院 [事務局長]

芦原教之

NORIYUKI ASHIHARA

新年あけましておめでとうございます。当院は、この鎌倉の地で地域の住民ならびに関係医療機関、消防の皆様にご支援・ご理解を頂き医療を継続してまいりました。おかげさまで、今年で32年目を迎えることができました。今年4月に、湘南鎌倉医療大学（鎌倉市山崎）が開校し、多くの学びある学生たちが入学して参ります。10月には、現在増築工事を行っております湘南鎌倉総合病院・先端医療センター棟が完成予定であります。当院は、救急医療だけでなく、がん医療においてもいままで以上の診療機能を有することができ、より高度ながん治療が行える体制となります。

近年、医療界においてもIT・ロボット化が進んでおりますが、医療は最終的に「人」であり、これからの超高齢化社会を迎える中、人間味あふれる医療従事者の継続的教育を行う必要があります。いままで以上に、当院は医療技術、知識、コミュニケーション能力の高い職員育成を目指し取り組んで参ります。当院の「生命だけは平等だ」の理念のもと、職員一同、患者さんならびに地域の方々が「安心して安全な医療」を受けられる社会（地域）の実現を目指し、日々精進を重ねていく所存であります。本年もよろしくお願い申し上げます。



総合診療科 Dr. より

“第1回鎌倉医療カレッジを開催しました”

我々は日々医療提供を行っているわけですが、特に当院のような急性期病院では多彩で複雑な病気を診察することが多くあります。しかし世界一の長寿国・日本において、全ての病気を治療することにも限界があります。

今求められていることは、「健康に生きる」ことと考えています。世界保健機関(WHO)が2000年に「健康寿命」という考え方を発表しています。初めて提唱されたのは1970年代で昔からある概念ですが、それは「自立した生活ができる期間」を指し、高齢化の進む近年、特に関心が高まってきています。

健康に生きることを目的とした医療サービス提供のひとつに、在宅診療があります。医師や看護師、薬剤師、リハビリ専門職などが直接自宅へ訪問し、必要なサービス提供を行うものです。**今は介護サービスがかなり発展しており、在宅診療を受けられる方も増えています。**急性期病院としては、在宅診療の提供に加え、在宅診療を提供できるクリニックなどとの連携も重要と考えています。

職員向けに 町 亞聖さんの講演会を開催しました！

テーマは「夢を諦めない」

では、在宅診療とはどのようなものなのか？診療を受ける患者さんのご家族への負担はどの程度なのか？急性期病院として、支援できることはないのか？その実際のお話をして頂くため、フリーアナウンサーの町 亞聖さんへ御講演を依頼しました。

町 亞聖さんは18歳から10年間、今よりも介護サービスが充実していない中で実のお母様を介護されました。その経験を綴った「十年介護」の出版や、在宅療養支援の学びの場である「在宅医療カレッジ」の学長を務めるなど、医療・介護をテーマに取材、啓発活動が続けられています。介護する側の辛かったことや、我が家だからできたこと、周りの医療職の方々の協力など、「夢を諦めない」をテーマに院内全職員対象に御講演頂きました。



フリーアナウンサーの町 亞聖さん

11月の病院統計データ

11月の病院統計データ							
入	院	数	1,849名				
退	院	数	1,918名				
外	来	人	数	41,127名			
初	診	数	合	計	4,215名		
紹	介	状	持	参	2,279名		
紹介入院(当月)				434名			
紹介				率	70.36%		
逆				紹	介	率	64.91%
E R (救急車)				1,265名			
(救命救急センター紹介状)				290名			
(救急車)				155名			
(救急入院)				143名			

医療サービスの目的は「生活支援」です。

皆さまの健康な生活をサポートできるように、これからも邁進していきたいと思ひます。



がんサロン

1/18(土)
14:00~15:30

がん体験者の語りの場です。
ふらっとお越しください!

「大災害への備え」

～普段から準備しておこう～

〈最初の30分に〉

薬剤部 古澤ひかり 薬剤師によるレクチャー付き

〈定 例〉第3土曜日(祝日除く) 〈対 象〉患者さんとそのご家族

〈場 所〉2F21番 オンコロジーセンター待合室

参加費無料・事前申込不要・自由参加

2月のがんサロン

2/15(土) 14:00~15:30 「がんと生活」 ～普段からできること お金のこと 他～

第4回

フットケア イベント

ロコモティブシンドロームを
予防して元気に歩ける足を!

イベント内容

1. ロコモシンドロームについての講演と予防体操教室
2. フットプリントと足相談会

2020. 2. 1(土) 11:00-14:00

場所: 2階フロア・3階講堂



第20回 院内コンサート

2月29日(土) 15:30~16:00



■ 出 演: ロジューマン合奏団 ■ 曲 目: ♪ 花 (滝廉太郎) ♪ 花は咲く ♪ ふるさと ♪ Chanson Petite 他



元日に参拝者で満員の八幡宮。境内にある白旗神社の手水舎に人をさけるように集まっていた鳩たちです。
 平和の象徴である白い鳩をその年が安寧であるように願いながら撮影しました。

患者様への重要なお知らせ

当院地下駐車場出入口が 変更となります。

従来病院正面のスロープから地下駐車場へご案内を行っていましたが、
 当院増築工事に伴い、**2020年3月15日(日)**から地下駐車場入口は
 病院裏手の臨時駐車場側へ変更となります。病院正面のスロープからの
 入庫はできなくなりますので、あらかじめご了承ください。期間中はなるべく公共交通機関をご利用頂けます様、ご協力をお願い致します。



医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1

TEL 0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190

ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

(直通)健康管理センター:0467-44-1454 人工膝関節センター:0467-46-7172

しょうなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会



SHONAN KAMAKURA
 GENERAL HOSPITAL

